

津地域育生地区 地震防災マップ

01-15

● 防災行政機関

名称	電話
津市役所	229-3104
津警察署	213-0110
中消防署中署	226-2580
中消防署西分署	225-7431
中消防署南分署	234-3512
北消防署北署	232-3092

● 救急告示医療機関

名称	電話
医療法人 吉田クリニック	232-3001
岩崎病院	232-2216
国立大学法人 三重大学医学部附属病院	232-1111
武内病院	226-1111
大門病院	226-5525
医療法人 永井病院	228-5181
遠山病院	227-6171
津生協病院	225-2848
若葉病院	227-0207

🏠 避難所一覽(地震災害・風水害)

名称	電話
阿津塚記念館	228-4225
橋原中学校	227-5781
藤水小学校	228-3674
育生小学校	228-6148
三重県立豊学校	226-4774
賢島地区防災コミュニティセンター	222-7400

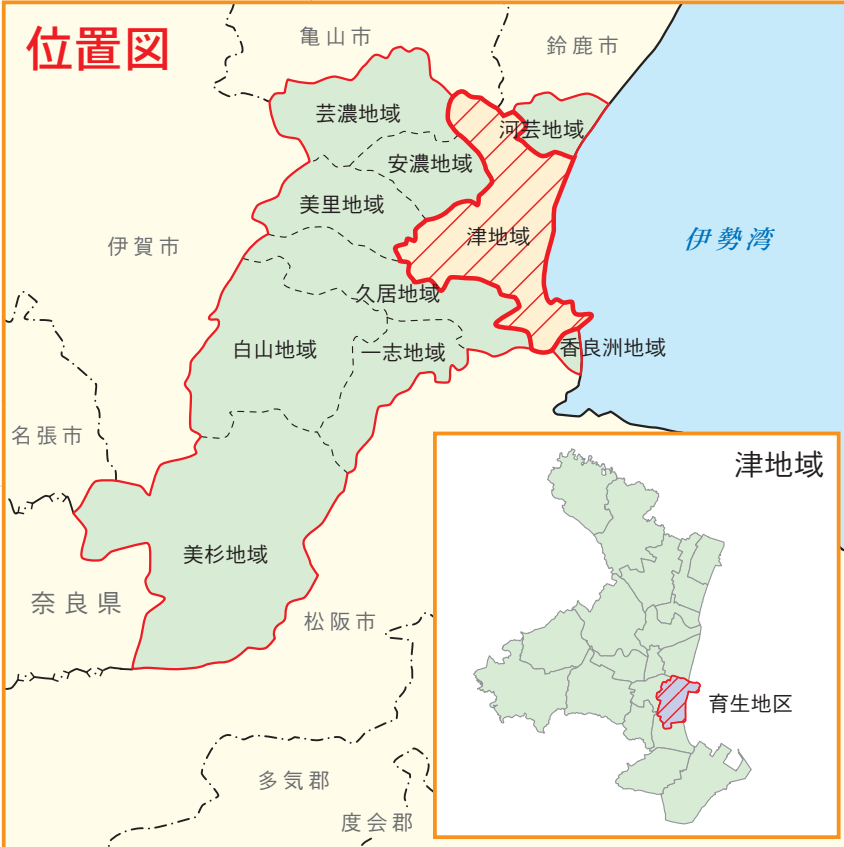
🏠 一時避難場所一覽(地震災害)

名称	電話
ほだじ保育園グラウンド	228-7473
古道公園	228-6217
三重県立みえ夢学園高等学校グラウンド	228-6217
津興公園	228-4806
※結城神社	228-3242
※津八幡宮	116
※乙部公園	225-3171
津球場公園	—
佐伯公園	—

※津波警報が解除後に限る

📡 ライフライン関係機関

名称	電話
中部電力(株)津営業所	228-5559
東邦ガス(株)津営業所	228-7161
西日本電信電話(株)三重支店	237-5811
津市水道局	—



【凡例】

- 津波浸水深 (0.5 m以上)
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 緊急輸送道路
- 防災行政機関
- 救急告示医療機関
- 避難所
- 一時避難場所(地震災害)

【震度の説明】

震度	人	間	屋内の状況	屋外の状況	木造建物
6強	立てることができない	固定していない重い家具のほとんどが倒壊、転倒する。壁が外れて落ちることがある。	固定していない重たい家具のほとんどが倒壊、転倒する。壁が外れて落ちることがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。強い揺れで、窓ガラスが外れて落ちることがある。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が壊れるものがある。
6弱	立てることが困難になる	固定していない重い家具の多くが倒壊、転倒する。壁が外れて落ちることがある。	固定していない重たい家具の多くが倒壊、転倒する。壁が外れて落ちることがある。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。強い揺れで、窓ガラスが外れて落ちることがある。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が壊れるものがある。
5強	非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。	固定していない重い家具の多くが倒壊、転倒する。壁が外れて落ちることがある。	固定していない重たい家具の多くが倒壊、転倒する。壁が外れて落ちることがある。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。強い揺れで、窓ガラスが外れて落ちることがある。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が壊れるものがある。
5弱	多くの人が、身の安全を思うように。一部の人は行動に支障を感じる。	固定していない重い家具の多くが倒壊、転倒する。壁が外れて落ちることがある。	固定していない重たい家具の多くが倒壊、転倒する。壁が外れて落ちることがある。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。強い揺れで、窓ガラスが外れて落ちることがある。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が壊れるものがある。

※東海・東南海・南海地震で震度5となるメッシュは地域内にはありません。気象庁震度履歴検索履歴表(平成28年2月)より抄録。

【液状化の説明】

液状化危険度ランク	予想される状況
極めて高い	液状化の危険度は極めて高い。メッシュ内で液状化が発生する面積は高から中程度と予想されます。砂や泥水が噴き出し、建物や橋が傾いたり、道路が陥没したり、液を打つける場所がある。
高い	液状化の危険度が高い。メッシュ内で液状化が発生する面積は中程度と予想されます。砂や泥水が噴き出し、建物や橋が傾いたりする場所がある。

造成地では一般的に、盛土地盤については液状化の可能性があると考えられます。これに対して切土地盤では液状化の可能性は低いと考えられます。この地域では、造成地を盛土地盤として高気圧の液状化を想定しているため、切土地盤の造成地については、実際よりも危険度を高評価している可能性があります。

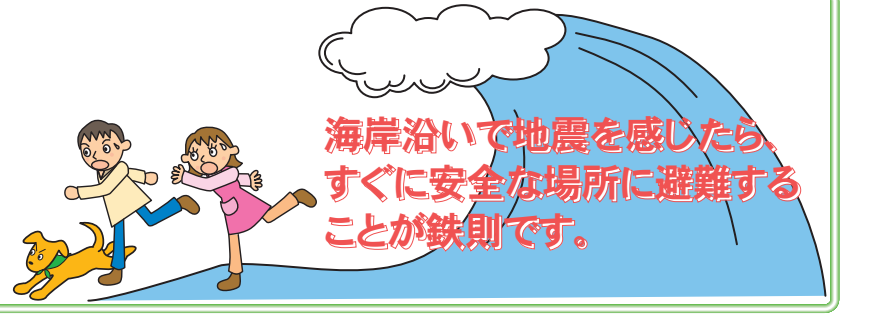
【急傾斜地の説明】

急傾斜地でけがれが発生すると、急傾斜地の上部ではけがれの高さに相当する範囲で土砂が崩れ落ち、急傾斜地の下部ではけがれの高さの2倍に相当する距離まで土砂が堆積することが一般的です。角度が30度以上、高さ5m以上の区域は、法定により「急傾斜地崩壊危険箇所」に指定されています。

【津波の被害】

- 津市の海岸に津波が到達する時間(地震発生時から)
 - 第一波(約20cm)・・・約50分後
 - 最大波(約1.5m)・・・約2時間20分後(津波は一回きりでなく、数度にわたって襲ってきます。)
 - 津波による主な被害
 - 高さの上まで浸ると人は立っていられなくなります。
 - 木造建物では、1m未満の高さでは部分的な被害程度ですが、1mを超えるとな全面的な破壊となる場合が出てきます。
 - 鉄筋コンクリートビルでは、2～3mの高さまで持ちこたえられますが、4mを超えると破壊するビルが出てきます。
- 津波は、海岸や海底の地形(V字状の高、岬の先端、湾内など)によっては局所的に大きくなる場合がありますので、注意が必要です。

津波から身を守る



この地図は、既存の図面としては最新の平成12年作成の津都市計画基本図を編纂したもので、平成12年以降に建てられた建物については表示されておりませんがご了承ください。